



2021年4月9日

各 位

会 社 名 株式会社デジタルメディアプロフェッショナル
代 表 者 名 代表取締役社長兼COO 大澤 剛
(コード番号3652、東証マザーズ)
問 合 せ 先 執行役員CFO経理部長 (兼)
経営企画部長 家高 朋之
T E L 03-6454-0450

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2020年11月10日に公表しました2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,500	△150	△100	△100	△31.82
今回修正予想 (B)	1,000	△430	△370	△373	△117.48
増 減 額 (B-A)	△500	△280	△270	△273	
増 減 率 (%)	△33.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	—	—	—	—	—

※ 2021年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期の実績については記載しておりません。

2. 修正の理由

売上高につきましては、以下の要因により、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

- ・顧客の遊技機の新台の検定通過率が低く推移したことや1月に入り11都府県に発出された緊急事態宣言を含めた新型コロナウイルスの影響により、遊技機メーカーの販売台数が計画を下回っていることやそれに伴い第4四半期に投入予定であった一部タイトルの販売が翌期に延期になっている状況等により、期末に向けて見込んでいたアミューズメント市場向けの画像処理半導体「RS1」の需要が後倒しになったこと
- ・プロフェッショナルサービスにおいて、第4四半期に回復を見込んでいたAI関連の一部顧客の開発投資が想定を下回ったこと

利益面につきましても、上記のとおり売上高が前回発表予想を下回る見込みとなったことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回発表予想を下回る見込みとなりました。

※上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上